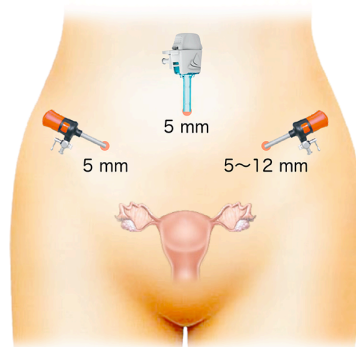




腹腔鏡下多嚢胞性卵巣焼灼術について

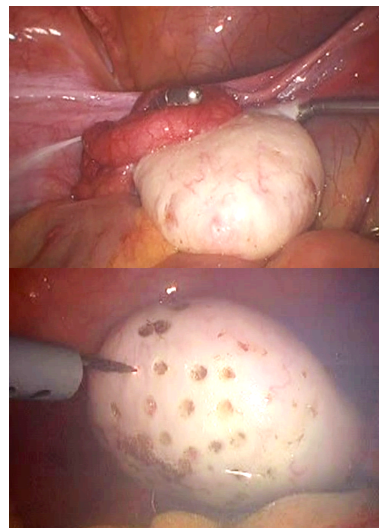
●手術の適応

- 多嚢胞性卵巣症候群 (PCOS) のうち、クロミフェンやレトロゾールなどの経口排卵誘発薬で卵胞が発育せず、FSHの注射薬で多発卵胞発育をきたす場合に行います。
- 術後は70%で自然排卵が起こり、90%は経口排卵誘発薬に反応するようになります。効果は1年くらいしか持続しないので、すぐに妊娠を希望する女性にしか行いません。
- 月経周期による手術時期の制限はありません。



●手術の方法

- 全身麻酔下に臍と両側下腹部を5mm切開し、内視鏡や手術器具を挿入します。子宮の位置や角度を操作する子宮マニピュレーターも装着します。
- 針状の電気メスを用いて、卵巣の小卵胞を10～30個ずつ焼灼し破裂させます。焼灼する個数は卵巣の大きさによります。
- 止血を確認して腹腔内を生理食塩水で洗浄し、皮膚を医療用ボンドで閉鎖します。
- 手術時間は平均20分 (12～40分) です。



●手術中に起こり得る予定外の事態 (合併症を除く)

- 骨盤内に癒着や子宮内膜症が見つかった場合は、処置を追加することがあります。
- 過去に受けた手術や腹膜炎などで高度の癒着があり、内視鏡の視野を確保できない場合は中止することがあります。

●術後に気をつけること

- 医療用ボンドは1週間程度で自然にはがれ落ちます。退院後は普段どおりにシャワー浴または入浴できますが、ボンドをこすらないようにしてください。
- 術後は**自然排卵**を期待します。1～2週間後に卵胞発育を超音波検査で調べます。発育がなければ**経口排卵誘発薬**を再開します。
- 手術の効果は100%ではありません。排卵誘発薬を調節しても卵胞発育をコントロールできない場合は**体外受精**を勧めます。

●手術・入院の費用

- 当院では、木曜日に入院、金曜日の午後に手術、月曜日に退院する4泊5日を基本的なスケジュールとしています。希望に応じて入院期間を短縮・延長できます。
- PCOSに対する腹腔鏡下手術と入院にかかる費用の目安です。

保険診療 (3割負担)	食事・個室料金など (自費)	合計
約141,000円	約59,000円	約200,000円

- 保険診療の自己負担額のうち上限額 (年収などによって異なります) を超えた分が支給される高額療養費制度もあります。
- 医療保険を請求する場合は保険会社の書類を準備して受付に提出してください。